

健康成人における睡眠不足が創造性に及ぼす影響の評価 実験参加者募集

募集対象

20歳以上40歳以下の健康な成人（性別は問わない）

ただし、以下に該当する場合は実験に参加いただけません。

- 睡眠障害を抱えている方、精神疾患の既往歴がある方
- 検査1週間前から試験日までの間に1日6時間以上の睡眠がとれない方
- 2泊3日の滞在が不可能な方、検査当日に車の運転や危険を伴う作業を予定している方
- 喫煙習慣のある方、過度のアルコールを摂取されている方

実施場所

事前説明場所	立命館大学 びわこ・くさつキャンパス	エポック立命21	会議室
研究実施場所	立命館大学 びわこ・くさつキャンパス	エポック立命21	宿泊室

実験内容

以下の2条件で、創造性検査を行っていただきます。

条件1：健康な状態 **条件2：24時間以上断眠した状態**

条件1での実験を2泊3日で実施し、4日間の休憩をはさみ、条件2での実験を2泊3日で実施します。2泊3日の実験期間中は立命館大学 びわこ・くさつキャンパスからの外出はできません。実験中とは、質問回答中（1時間程度毎日）、睡眠中の時間のことです。

< 計測項目（使用機器） >

- 質問回答中の顔の動画（Xiaomi 11T pro）
- 質問回答中の脳波，心電図（Polymate V, Polymate pro）、脳血流（BOM-L1）
- 睡眠時の脳波（Polymate mini, Polymate pocket）
- 睡眠時赤外線ビデオ撮影（iphone）、断眠時行動観察ビデオ撮影（1080p USB camera）
- 活動量（MTN-221），体重（HBF-228T），体組成（HBF-306-W），血圧（CH-65F）
- その他アンケート（ピッツバーグ睡眠質問票、POMS-2、他）

< 実験参加後，希望者には下記のデータをフィードバック >

創造性検査結果、ピッツバーグ睡眠質問票回答結果

研究責任者が独創性の確保に支障がないと判断した範囲内での結果を開示いたします

本実験は倫理委員会で承認されており、ヘルシンキ条約に基づき実施され、心身的・精神的苦痛を伴わずプライバシーは厳重に守られます。

謝礼

すべて参加の場合，40000円を提供いたします。
（途中辞退の場合は，一部の謝礼をお渡しします。）

申し込み方法

右のQRコードを読み取り，参加申し込みフォームにアクセスしてください→

お問い合わせ先

研究責任者：立命館大学 理工学部 ロボティクス学科 教授 岡田志麻

研究担当者：立命館大学大学院 理工学研究科 機械システム専攻 文元要成

Email : rr0122es@ed.ritsumei.ac.jp

倫理審査
承認後に
QRコード
貼付